

大分教育事務所訪問 55

大分市立植田小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「よく学び すすんで実践する 心豊かなたくましい植田っ子の育成」を達成するために、研究主題を「主体的な学びを育む指導のあり方」として、学習の質を高める授業改善を中心に取り組まれています。特に、ホワイトボードやロイロノート等のICT機器を日常的に活用することで、子ども達に聞く力や書く力をつけるためだけでなく、「できた、わかった」という体験を通して、自尊感情を高めることを期待しています。

今後は、協議の際に確認した、「(他者と協働して) 生み出す力」等、学校として育成を目指す資質・能力をより明確にすることで、教職員や保護者・地域の方との共通理解がより推進されると思われました。教職員や学校関係者の上位目標の理解がすすむと、方法は担当者に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まると思われました。

授業から学ぶ

4年生は、子どもが起立して発言をする際は「～です」等公の言葉で説明していました。つぶやきと発言を区別することで、発言者に責任を持たせるような指導を行っていると思われました。また、子ども達がそれぞれの意見をつなぐように意見を言うことで、深い学びとなっていました。

6年生は、笑顔があふれはじめがあり、一人の発言にみんなが反応する等安全安心な雰囲気を感じました。テンポのある授業の中にあっても、一人一人が自分の考えを表現できる授業でした。

今後は、本校の授業改善の重点でもある「振り返り」において、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして明記されてみてはいかがでしょうか。そのことで、本時の「ねらい」との連動や評価規準がより明確になり、学習の質についての検証がより行われると思われました。



NO.260 2021年9月 植田小学校

自分の言葉で

「〇〇と思います。なぜそう考えたかと言うと・・・」既習事項を使って自分の思いを言葉で伝える。だから、説得力がある。



NO.259 2021年9月 植田小学校

姿勢で伝える

「できました」と言わなくても、姿勢をみればわかります。そして、次にやることをもう考えていますね。



NO.261 2021年9月 植田小学校

笑顔の教室

笑顔や拍手があふれるクラスだから、自分の思いを伝えることができる。